



ALLIANCEBERNSTEIN®

販売用資料
2025年2月

アライアンス・バーンスタイン・ 米国割安株投信

(年2回決算型)
(隔月決算・予想分配金提示型)

愛称：プレミアバリュー

追加型投信／海外／株式



当ファンドの
最新情報は
こちら



■ 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

大和証券

Daiwa Securities

【商号等】大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

【加入協会】日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本STO協会

■ 設定・運用は

アライアンス・バーンスタイン

【商号等】アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

「私たちが絶えず探求しているもの —それは、魅力的な株価にある優れたビジネスだ」

We are relentlessly seeking the best business at the most compelling price.

アライアンス・バーンスタイン・米国割安株投信 共同最高投資責任者 ジョン・フォガティ

私たちの割安株投資とは—

私たち米国大型株運用チームでは、米国大型株を中心に、割安株から成長株まで幅広くリサーチを行っています。そうしたなか、一貫して力を注いでいることは、**ビジネスの経済的真相を捉えること**です。

割安株投資では、株式市場の評価の歪みにより**優れたビジネスを有するにもかかわらず低く評価されている企業**を探求します。

そして、私たちはそのような企業を“**プレミアバリュー企業**”と呼んでいます。

日本の投資家の皆様が、当社の投資戦略を活用し、長期的な資産形成に役立てていただけることを心より願っております。

アライアンス・バーンスタイン 米国大型株運用チーム



当ファンドの魅力

1



高水準のリターンを創出してきた米国株式市場のなかから、“プレミアバリュー企業”に厳選投資

- 世界最大の株式市場である米国株式市場は、長期的に見て、世界の他の株式市場を圧倒的に上回る高いリターンを創出
- 徹底的なファンダメンタルズ・リサーチで“プレミアバリュー企業”（優れたビジネスを有し、魅力的な株価水準にある企業）に厳選投資

2



アライアンス・バーンスタイン米国大型株運用チームによる運用

- 割安株から成長株まで、一貫した“優れたビジネス”への投資で良好な実績を積み上げてきたアライアンス・バーンスタイン米国大型株運用チーム

3



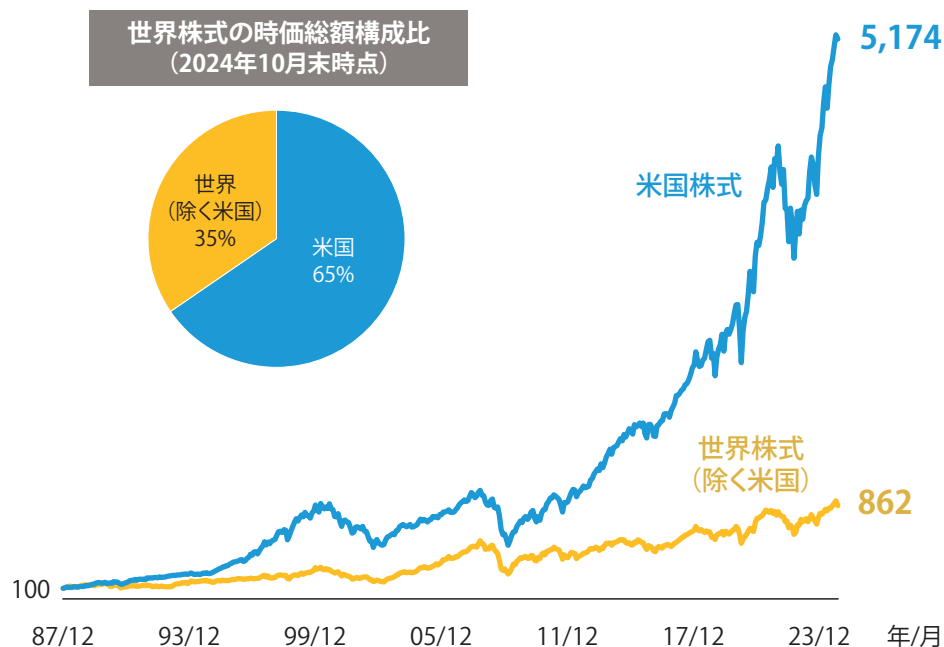
優れた運用実績

- 長期で市場平均および類似ファンド平均を上回るパフォーマンスを実現
- 株式市場の下落時に下げ渋り、上昇時には追従することで、長期的に市場を上回る

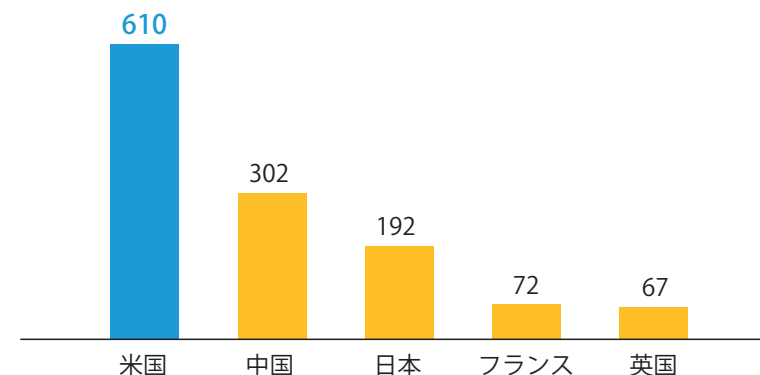
高水準のリターンを創出してきた米国株式市場のなかから、“プレミアバリュー企業”に厳選投資

- 世界最大の株式市場である米国株式市場は、長期的に見て、世界の他の株式市場を圧倒的に上回る高いリターンを生み出しています。
- 世界的な有力企業の多くは米国企業であり、また突出した知的財産による収益が国際競争力を示しています。

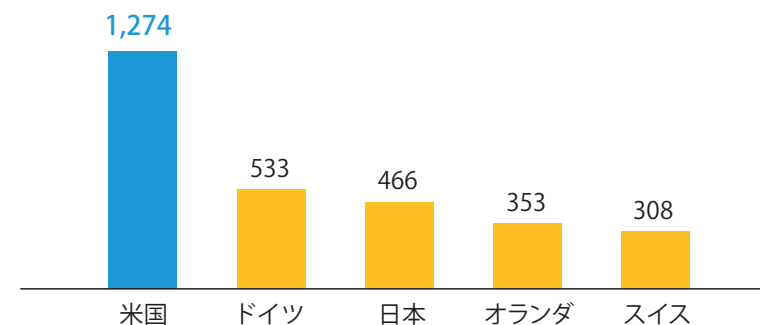
米国および世界株式(除く米国)の株価推移*



世界企業番付「Global 2000」に選出された国別企業数**



知的財産の使用料収益*** (億米ドル)



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

* 期間: 1987年12月末 - 2024年10月末。1987年12月末を100として指数化。米国株式: MSCI 米国指数。世界株式(除く米国): MSCI オールカントリーワールド指数(除く米国)。米ドルベース。月次ベース。配当込み。

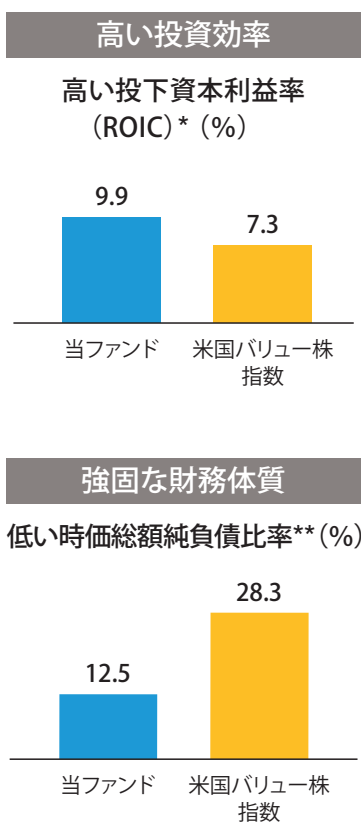
** 経済誌フォーブス発表の「Global 2000 (2023年)」に選出された2000社を所在国別に集計。「Global 2000」とは、フォーブスが世界各国の公開企業の売上、利益、資産、市場価値の4つの指標から総合的に割り出したスコアによりランク付けし上位2000社を選出。

*** 国際収支統計における「特許等使用料の受取額」。2022年実績。

出所: MSCI、ファクトセット、スタティスタ、フォーブス、世界銀行、アライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」)。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。

徹底的なファンダメンタルズ・リサーチで“プレミアムバリュー企業”に厳選投資

- 当ファンドでは、徹底的なファンダメンタルズ・リサーチに基づき、“プレミアムバリュー企業”を厳選し、ポートフォリオを構築します。
- “プレミアムバリュー企業”とは、優れたビジネスを有しながら魅力的な株価水準にある企業であり、以下の視点から分析します。
- 分析にあたっては、ESG（環境、社会、ガバナンス）など非財務情報も考慮します。



PREMIER X VALUE

優れたビジネス

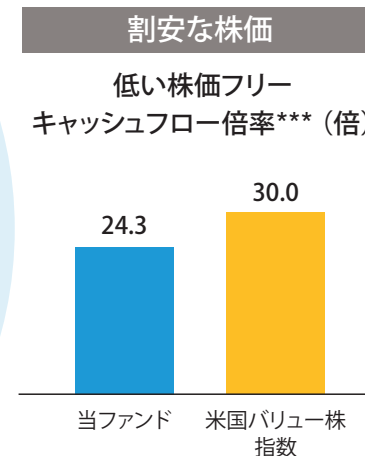
革新的な製品・サービスによる
強いビジネスモデルや
優れた経営戦略で
投下資本に対して効率的に
利益を創出できる企業。

外部環境に左右されにくい
強固な財務体質により
ビジネスの安定性が
ある企業。

プレミアムバリュー企業

魅力的な株価水準

優れたビジネスにより
キャッシュを多く創出している
にもかかわらず、
株式市場での評価が
高くない企業。



過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

2024年10月末時点。当ファンドは、「アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド」のデータに基づきます。キャッシュは除きます。米国バリュー株指数は、ラッセル1000バリュー指数。

* 投下資本利益率 (ROIC) とは、企業がビジネスに投じた資金を使ってどれだけの利益を生み出したかを示す指標で、(営業利益 × (1 - 実効税率)) / (株主資本 + 有利子負債) により算出。

** 時価総額純負債比率とは、企業価値に対する純負債の依存度を測定するもので、(有利子負債 - 現金等) / 時価総額により算出。

*** 株価フリーキャッシュフロー倍率とは、創出されるキャッシュに対する株式市場の評価を測定するもので、時価総額 / フリーキャッシュフローにより算出。

出所: ファクトセット、AB

“プレミアバリュー企業”への投資事例 ①

エレバンス・ヘルス（ヘルスケア）

ビジネスモデルの強化が進展 医療保険のリーディングカンパニー

PREMIER × VALUE

《ココがプレミア》

収益性の向上

企業概要

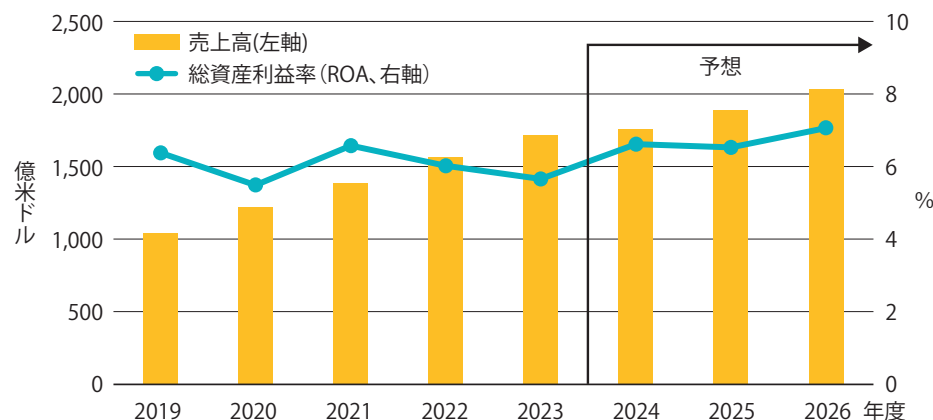
- ・米国で5千万人近い加入者を持つ医療保険最大手の一角。子会社を通じて薬剤給付管理ビジネスの育成に注力。



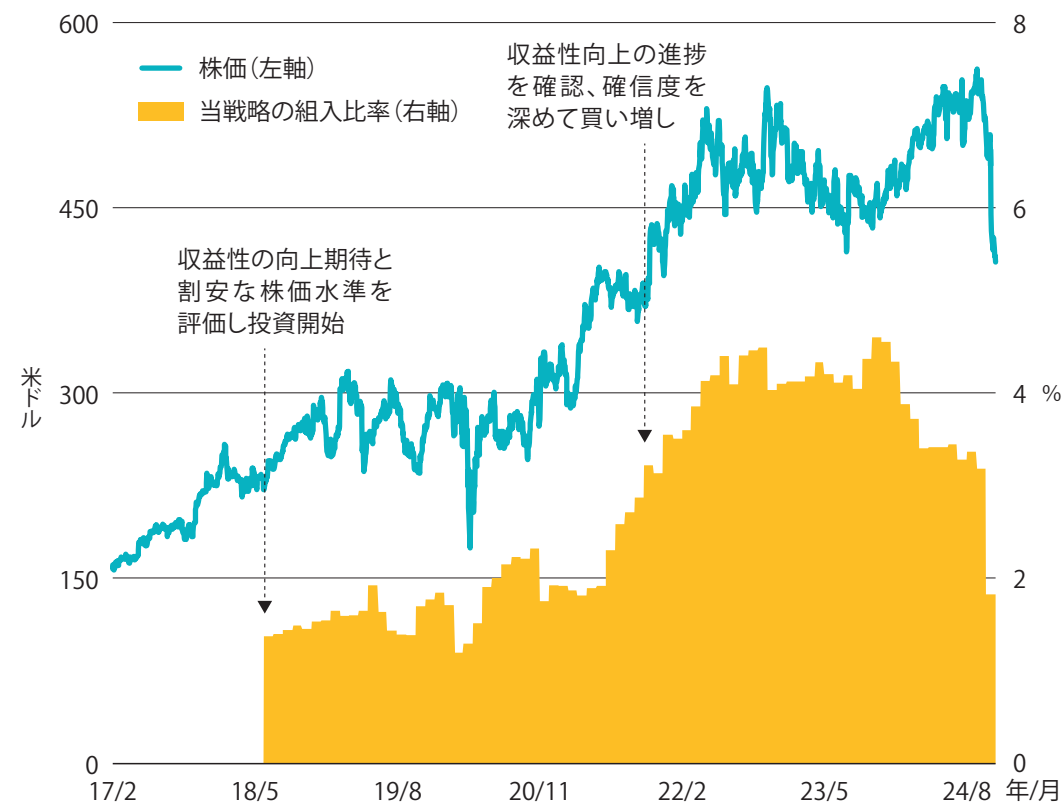
運用チームの着眼点

- ・高齢化を背景とした医療保険市場の着実な拡大に加え、高収益・高成長の薬剤給付管理がけん引する形で、**収益性は長期的に向上**。同社が戦略的に取り組む**ビジネスモデルの強化は株価に織り込まれていないと判断し**、投資開始。

売上高と総資産利益率の推移*



株価と当戦略の組入比率の推移**



当戦略の組入比率は、当戦略の代表口座のものであり、当ファンドの組入比率ではありません。

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの運用戦略の説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組み入れを示唆・保証するものではありません。画像はイメージです。

* 期間：2019年度～2026年度。2024年度以降はファクトセットのコンセンサス予想。売上高とROAは決算期ベース。

** 期間：2017年2月1日～2024年10月31日。株価は日次ベース。当戦略の組入比率は、当戦略の代表口座の対組入株式評価額合計の比率。月次ベース。

出所：ファクトセット、ブルームバーグ、AB

“プレミアバリュー企業”への投資事例 ②

ウォルマート(生活必需品)

AI技術を駆使したパーソナライズ化されたショッピング体験の実現による収益性改善

PREMIER × VALUE

《ココがプレミア》

優れた経営戦略

企業概要

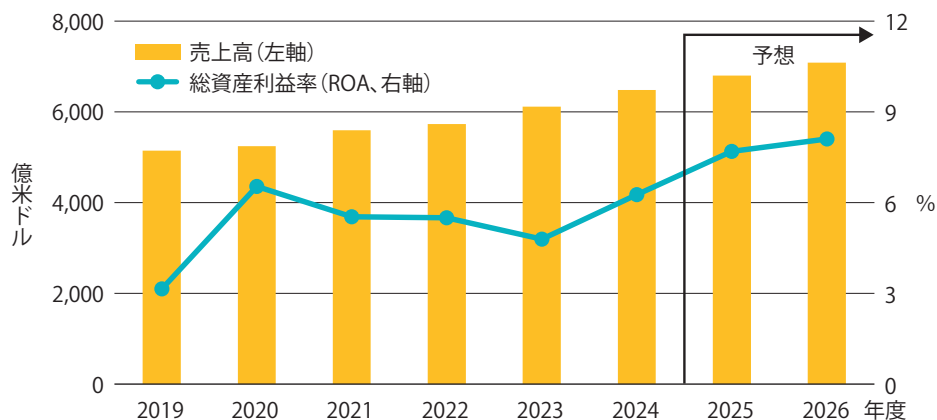
- ・米国を中心に世界各地に店舗を展開する世界最大のスーパーマーケットチェーン。



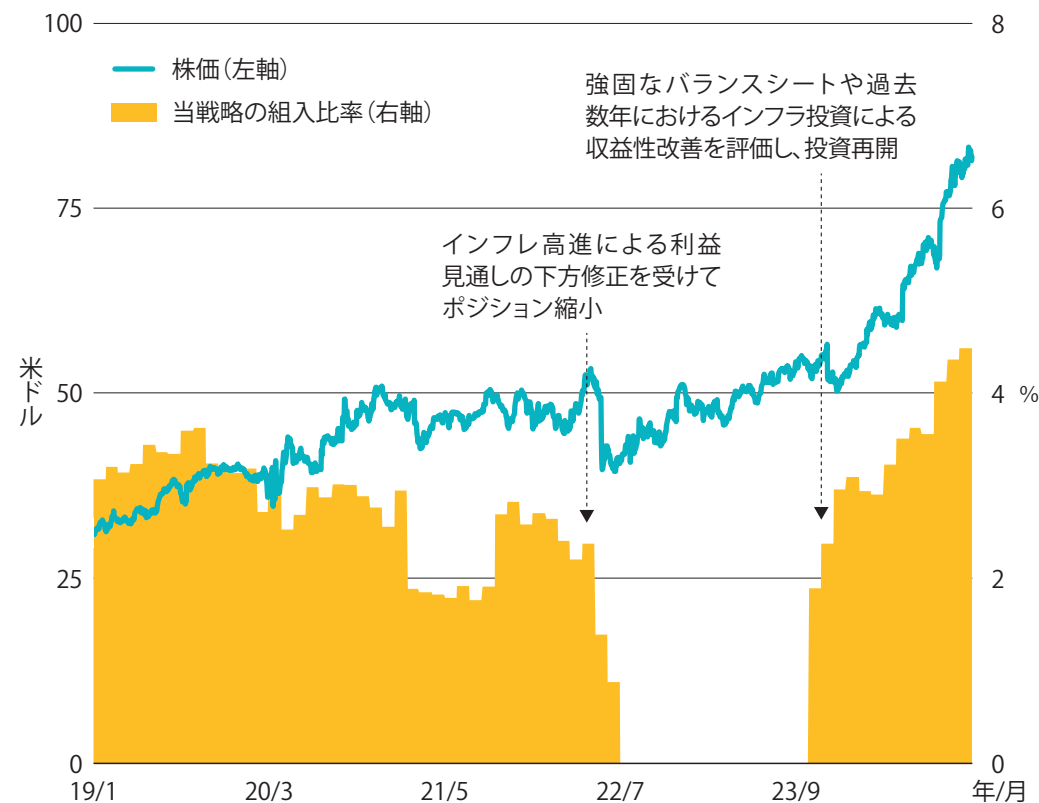
運用チームの着眼点

- ・全米屈指の店舗数の多さを生かしたオムニチャンネルや最先端技術の活用などによる成長戦略の成功。利益見通しの下方修正により一時ポジションを縮小していたが、**バランスシートの健全性や、ここ数年のAI等を用いた物流、インフラやシステムへの投資による収益性改善を評価し、徐々に投資を再開。**

売上高と総資産利益率の推移*



株価と当戦略の組入比率の推移**



当戦略の組入比率は、当戦略の代表口座のものであり、当ファンドの組入比率ではありません。

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの運用戦略の説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組み入れを示唆・保証するものではありません。画像はイメージです。

* 期間：2019年度～2026年度。2025年度以降はファクトセットのコンセンサス予想。売上高とROAは決算期ベース。

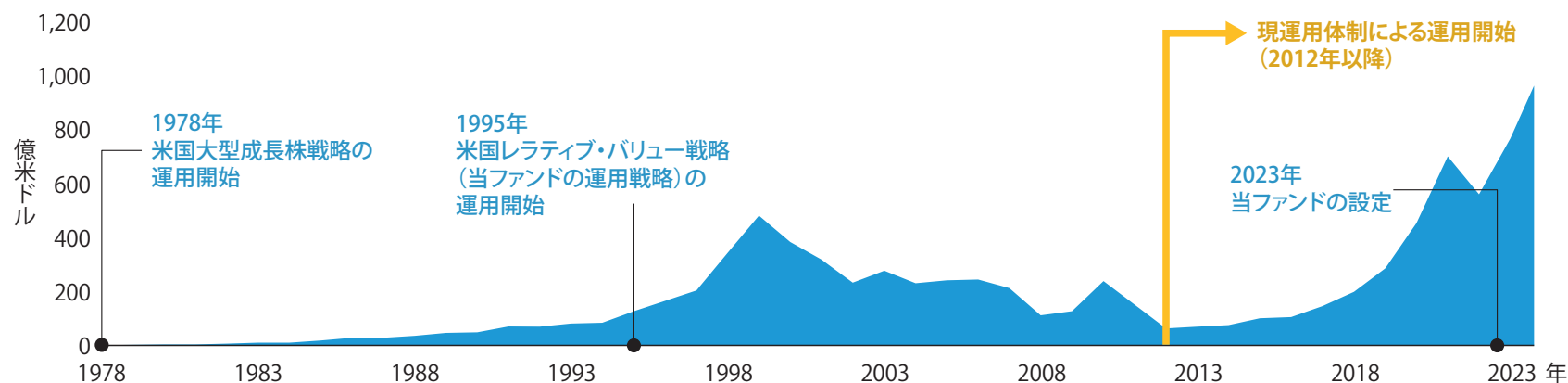
** 期間：2019年1月1日～2024年10月31日。株価は日次ベース。当戦略の組入比率は、当戦略の代表口座の対組入株式評価額合計の比率。月次ベース。

出所：ファクトセット、ブルームバーグ、AB

アライアンス・バーンスタイン米国大型株運用チームによる運用

- 運用は、割安株から成長株まで、一貫した“優れたビジネス”への投資で良好な実績を積み上げてきたアライアンス・バーンスタイン米国大型株運用チームが行います。
- 深い知識と長期の経験を有する専門家集団であり、徹底したリサーチにより築いた独自の知見を連携させ、長期にわたり安定した投資成果を実現しています。

アライアンス・バーンスタイン米国大型株運用チームの代表的な戦略と運用残高の推移*



アライアンス・バーンスタイン米国大型株運用チーム全体の概要**



メンバー

13名

ポートフォリオ・マネジメント：3名
ファンダメンタル・リサーチ：7名
ファンクショナル・リサーチ：3名



平均経験年数

19年



拠点

ニューヨーク



チーム全体の運用残高

計14.9兆円(1,042億米ドル)

主な投資戦略と運用残高

米国大型成長株戦略：13.3兆円(930億米ドル)

米国レラティブ・バリュー戦略：0.5兆円(36億米ドル)

その他：1.0兆円(76億米ドル)

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。上記の内容は今後変更することがあります。

* 期間：1978年～2024年。年次ベース。ただし、2024年は9月まで。米国大型成長株戦略および米国レラティブ・バリュー戦略の運用残高の推移。

** 2024年9月末時点。運用残高は1ドル=143.04円(2024年9月末現在のWMリフィニティブ)で換算。

出所：AB

アライアンス・バーンスタイン米国大型株運用チームの割安株投資

割安株投資でも成長株投資でも一貫した
「優れたビジネス」への投資

- ① 企業リサーチの主眼は、ビジネスの経済的真相を理解すること
- ② 優れたビジネスを有する企業に投資すること

上記2つは、割安株投資でも成長株投資でも、一貫して実施しています。

割安株投資における銘柄選択の視点
～プレミアバリュー企業～

優れたビジネスを有するにもかかわらず、株式市場の評価の歪みにより低く評価された「プレミアバリュー企業」を発掘します。

当ファンドで投資する企業／しない企業



優れたビジネスを有するにもかかわらず、株式市場の評価の歪みにより、割安な株価で取引されている企業



純粋に高い事業リスクの結果として低く評価されている企業

一般的に、株価が低く評価される企業は、収益性の低さ、債務依存度の高さ、業績変動性の高さなどのビジネスリスクが内包されている可能性があります。景気や市況動向など外部環境の変化により、それら割安株が一時的に人気化することはありますが、当ファンドで投資対象とすることはありません。



当ファンドの投資哲学

「優れたビジネスを有する企業を、
魅力的な株価で取得する」

上記の内容は今後変更することがあります。

2024年10月末時点。アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー在籍。出所：AB



共同最高投資責任者
ジョン・フォガティ



共同最高投資責任者
ヴィネイ・ターパー

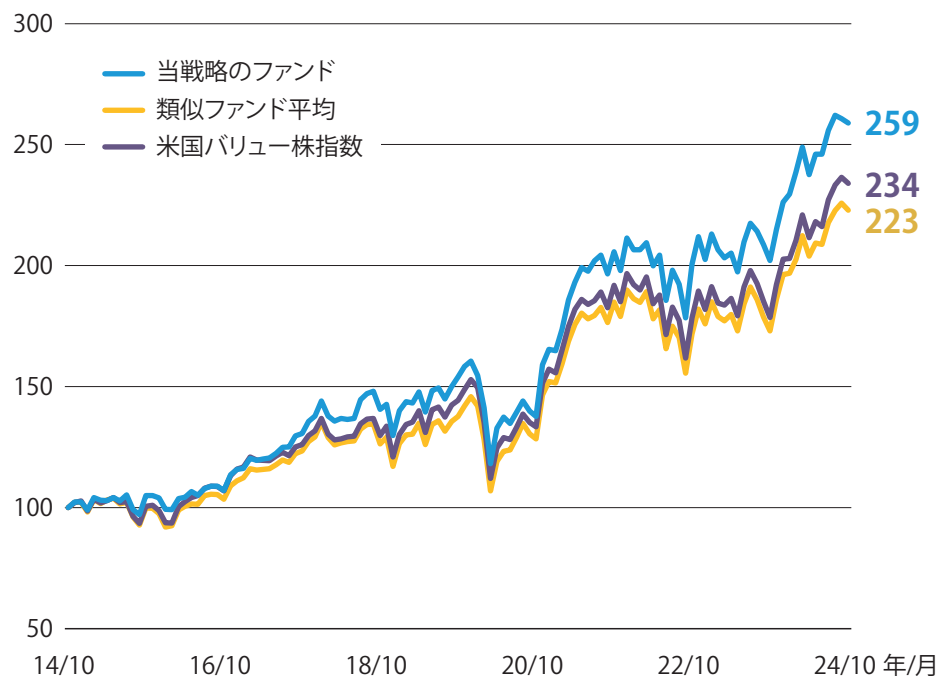


ポートフォリオ・マネジャー
クリス・コトウィッツ

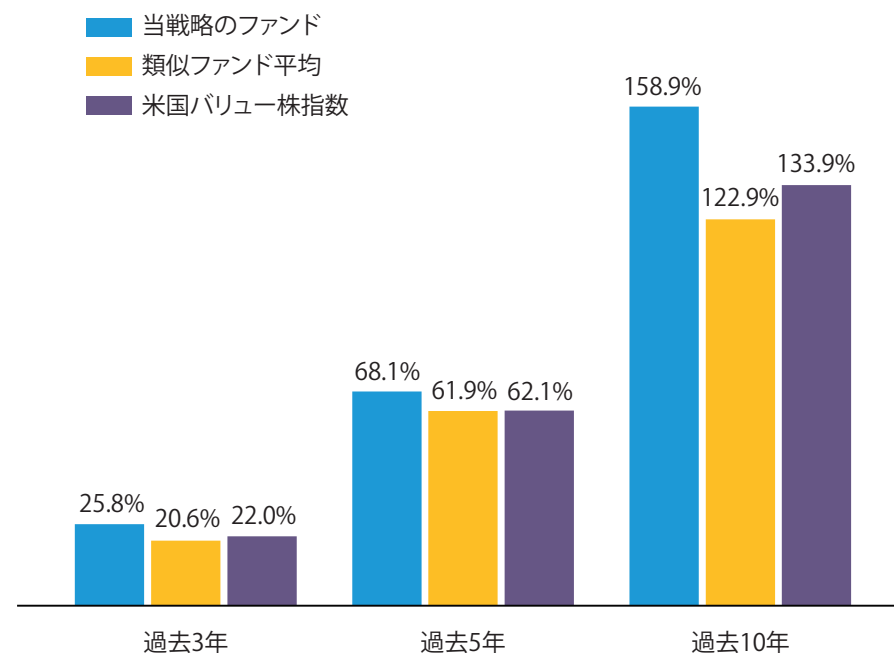
優れた運用実績

- 当戦略のファンドは、中長期にわたって米国バリュー株指数および類似ファンド平均を上回るパフォーマンスを実現しています。

当戦略のファンドの運用実績（過去10年／米ドルベース）*



当戦略のファンドの期間別騰落率（米ドルベース）**



当戦略のファンドは、当ファンドと同様の運用戦略を採用する米国籍のファンドであり、当ファンドの実績ではありません。

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

当戦略のファンド：米国籍アライアンス・バーンスタイン・レラティブ・バリューファンド アドバイザリークラス。類似ファンド平均：モーニングスターによる米国大型バリュー株式カテゴリーにおける平均リターン。いずれも費用等控除後。米国バリュー株指数：ラッセル1000バリュー指数。米ドルベース。配当込み。

* 期間：2014年10月末－2024年10月末。2014年10月末を100として指数化。月次ベース。

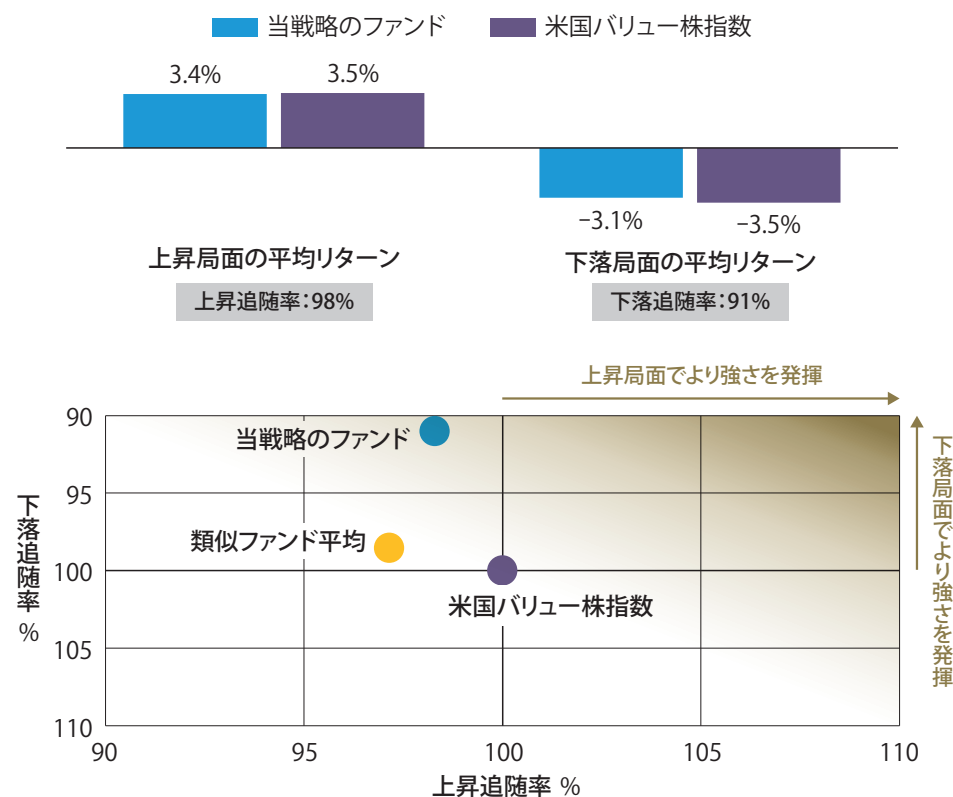
** 2024年10月末時点。

出所：モーニングスター、ブルームバーグ、AB

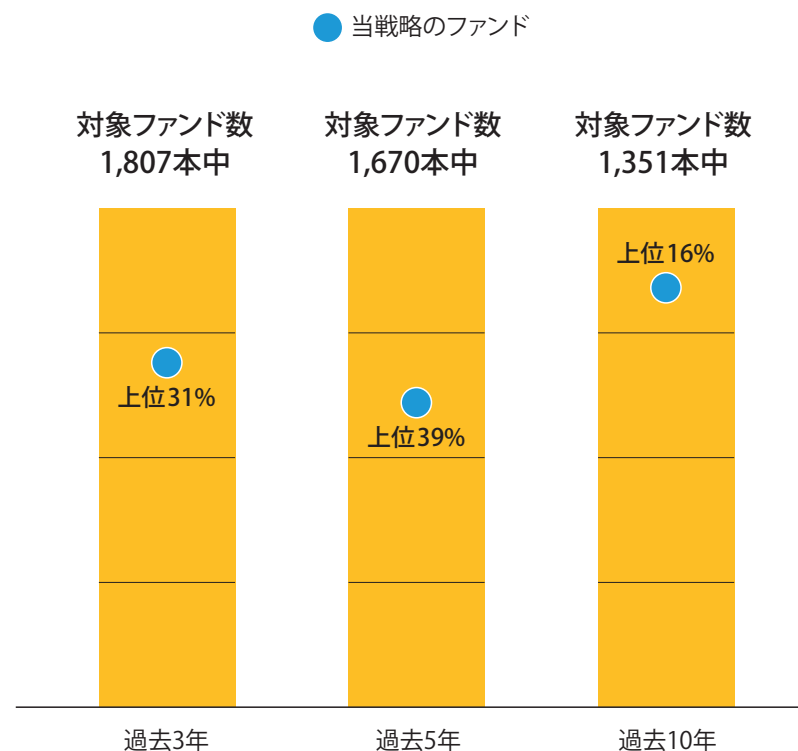
株式市場の下落時に下げ渋り、上昇時には追随することで、長期的に米国バリュー株指数を上回る

- “プレミアバリュー企業”から構成されたポートフォリオは、市場下落時に下げ渋り、市場上昇時に追随するという特徴があります。
- 当戦略のファンドのリターンは、類似ファンドのなかで相対的に高い水準です。

市場の上昇／下落局面における平均リターンと追随率*



類似ファンドカテゴリーにおけるリターン・ランキング**



当戦略のファンドは、当ファンドと同様の運用戦略を採用する米国籍のファンドであり、当ファンドの実績ではありません。

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

当戦略のファンド：米国籍アライアンス・バーンスタイン・レタティブ・バリューファンド アドバイザリークラス。費用等控除後。米ドルベース。

* 期間：2014年10月末－2024年10月末。米国バリュー株指数：ラッセル1000バリュー指数。類似ファンド平均：モーニングスターによる米国大型バリュー株式カテゴリーにおける平均リターン。費用等控除後。米ドルベース。

配当込み。配当込み。追随率は、当戦略のファンドの平均リターン÷米国バリュー株指数の平均リターンにより算出。平均リターンは月次ベース。

** 2024年10月末時点。類似ファンドカテゴリーは、モーニングスターの米国大型バリュー株式カテゴリーによる。

出所：モーニングスター、ブルームバーグ、AB

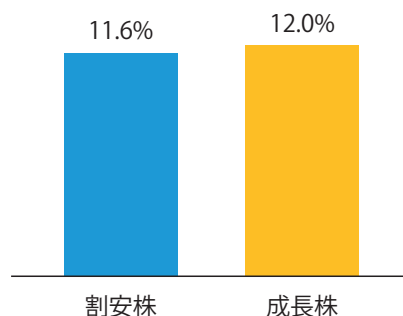


1 “禍福（かふく）は糾（あざな）える縄の如し”

- 超長期では、割安株と成長株のリターンは、ほぼ同じになります。
- ただし各年でみると、その優劣は、“糾（あざな）える（より合わせた）縄”のように交互にやってくるものであることがわかります。
株式で安定的に資産形成を行うために、割安株と成長株にバランスよく投資することは、有効な方法のひとつと言えます。

割安株と成長株のリターン（1979年－2023年）

— 超長期のリターン（年率）* — （1979年－2023年）



各年のリターン

		割安株		成長株				割安株		成長株				割安株		成長株	
		割安株	成長株	割安株	成長株	割安株	成長株	割安株	成長株	割安株	成長株	割安株	成長株	割安株	成長株	割安株	成長株
1979		20.5%	23.9%	1991		24.6%	41.2%	2003		30.0%	29.7%	2015		-3.8%	5.7%		
1980		24.4%	39.6%	1992		13.8%	5.0%	2004		16.5%	6.3%	2016		17.3%	7.1%		
1981		1.3%	-11.3%	1993		18.1%	2.9%	2005		7.1%	5.3%	2017		13.7%	30.2%		
1982		20.0%	20.5%	1994		-2.0%	2.7%	2006		22.2%	9.1%	2018		-8.3%	-1.5%		
1983		28.3%	16.0%	1995		38.4%	37.2%	2007		-0.2%	11.8%	2019		26.5%	36.4%		
1984		10.1%	-1.0%	1996		21.6%	23.1%	2008		-36.8%	-38.4%	2020		2.8%	38.5%		
1985		31.5%	32.9%	1997		35.2%	30.5%	2009		19.7%	37.2%	2021		25.2%	27.6%		
1986		20.0%	15.4%	1998		15.6%	38.7%	2010		15.5%	16.7%	2022		-7.5%	-29.1%		
1987		0.5%	5.3%	1999		7.3%	33.2%	2011		0.4%	2.6%	2023		11.5%	42.7%		
1988		23.2%	11.3%	2000		7.0%	-22.4%	2012		17.5%	15.3%						
1989		25.2%	35.9%	2001		-5.6%	-20.4%	2013		32.5%	33.5%						
1990		-8.1%	-0.3%	2002		-15.5%	-27.9%	2014		13.5%	13.0%						

割安株優位の確率：**47%**
（45年間で、21回の勝ち）

成長株優位の確率：**53%**
（45年間で、24回の勝ち）

割安株と成長株のリターン格差は、景気サイクルや投資家の選好の変化等により、短期的には大きくなる傾向があります。

・各年の最大リターン格差：**36%**（2020年） ・各年の平均リターン格差：**10%**

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

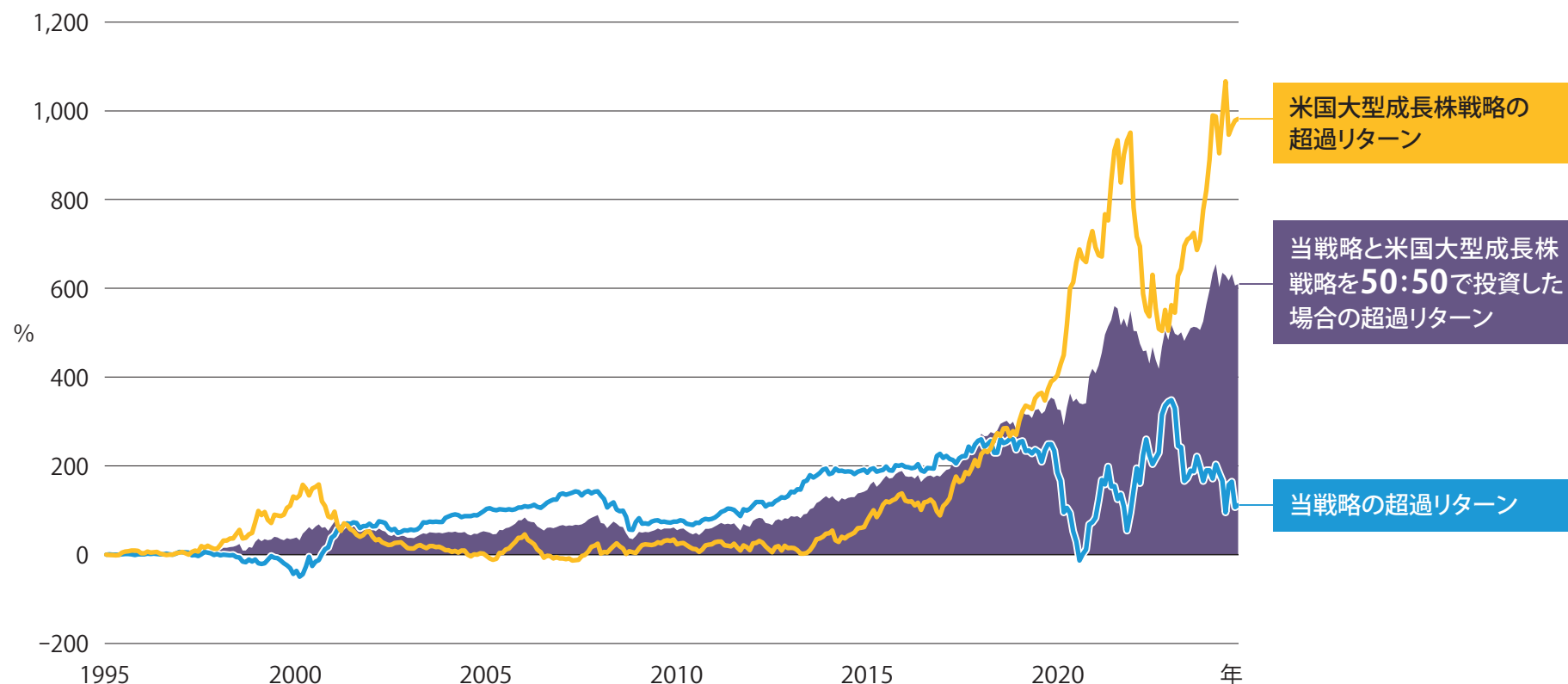
* 期間：1979年－2023年。年次ベース。割安株：ラッセル1000バリュエ指数。成長株：ラッセル1000グロース指数。配当込み。米ドルベース。

出所：ブルームバーグ、AB

2 当ファンドを成長株ファンドと併せ持つことで、より安定したパフォーマンスを期待できる

- 当ファンドを成長株ファンドと併せ持つことで、米国株式市場全体に対して、より安定的なリターンが期待できます。
- 例えば、当ファンドの運用チームが運用する米国大型成長株戦略と当戦略を均等投資した場合、より安定的に超過リターンの積み上げが実現したことがわかります。

当戦略の運用開始来の米国株式指数に対する累積超過リターン(費用等控除前)*



当戦略および米国大型成長株戦略のコンポジットのリターン(費用等控除前)を示したものであり、当ファンドの実績ではありません。

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

※コンポジットとは、類似の投資戦略、投資方針に基づいて運用される1つ以上のファンドの運用実績を、一定基準に従って評価したものであり、投資戦略ごとの運用実績を表すために用いられます。

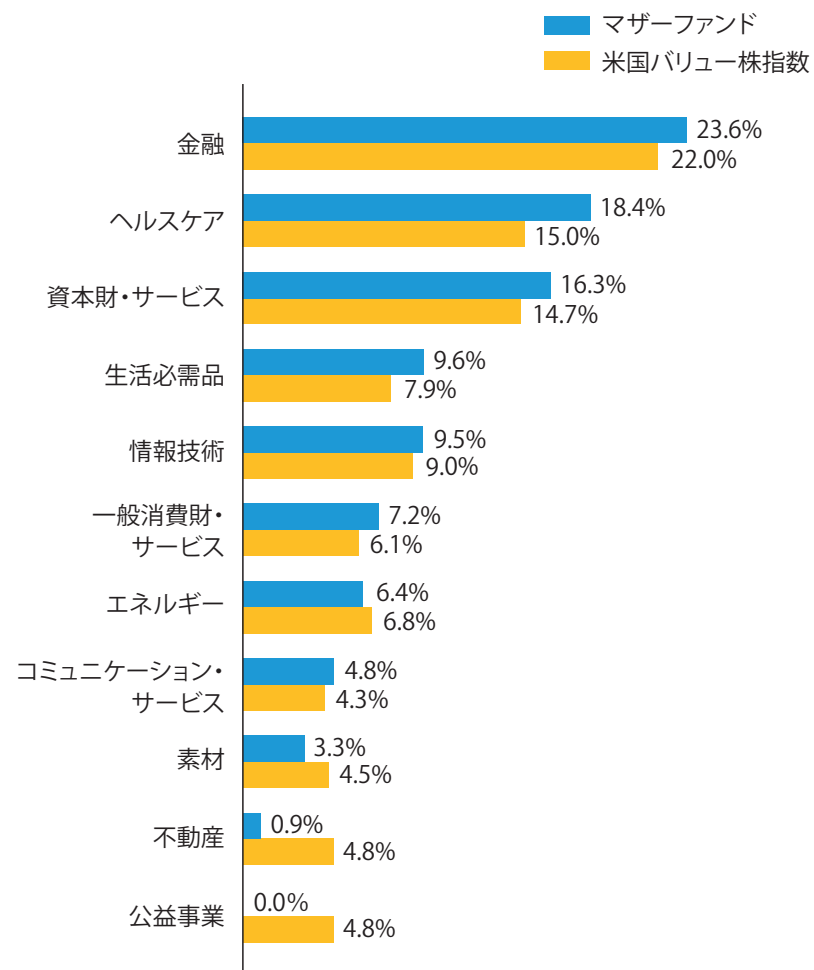
* 期間:1994年12月末ー2024年10月末。米国株式指数:S&P 500株価指数。「当戦略と米国大型成長株戦略を50:50で投資した場合」は、月次リバランスベース。月次ベース。米ドルベース。

出所:ブルームバーグ、AB

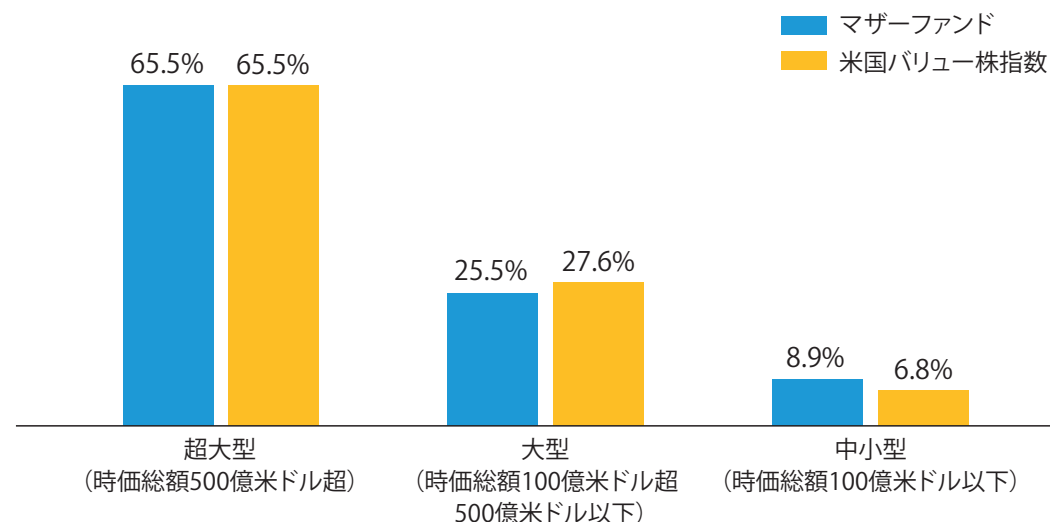
マザーファンドの状況(2024年10月末時点)



セクター別配分



規模別配分



ポートフォリオ特性

	マザーファンド	米国バリュー株指数
フリーキャッシュフロー成長率	1.2%	-4.1%
予想ROE(株主資本利益率)	14.0%	12.8%
予想PER(株価収益率)	17.1倍	18.7倍
PBR(株価純資産倍率)	2.2倍	2.2倍

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。

セクター別配分、規模別配分については、組入株式評価額合計を100%として算出。セクター別配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。小数点第2位を四捨五入していますので、表示されている数値の合計が100%にならない場合があります。

マザーファンドは「アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド」。米国バリュー株指数：ラッセル1000バリュー指数。

出所：ファクトセット、AB

マザーファンドの組入上位10銘柄(2024年10月末時点)

銘柄数:69銘柄

	銘柄名	セクター	概要	組入比率
1	ウォルマート	生活必需品	米国を中心に世界各地で事業を展開する大手小売スーパー・チェーン。ディスカウントストア、スーパーセンター、および住宅隣接型の店舗を経営。	4.4%
2	JPモルガン・チェース	金融	世界有数のグローバル総合金融サービス会社。投資銀行、証券取引、資金決済、証券管理、資産運用、プライベート・バンキング、コマーシャル・バンキング、コンシューマー・コミュニティ・バンキング等の金融サービスを提供。	4.0%
3	バークシャー・ハサウェイ	金融	持株会社。各種事業部門の子会社を保有する。米国内向け保険事業を中心に、海外向け再保険事業も手掛ける。鉄道会社、特殊化学品会社、国際的なコングロマリットも運営。	3.8%
4	フィリップ・モリス・インターナショナル	生活必需品	世界最大のたばこメーカー。現在の主要製品は、紙巻きたばこのほか、加熱式たばこ、電子式たばこ、およびニコチン製剤などの煙が出ない製品。	3.7%
5	ファイサーブ	金融	総合的な情報管理・電子コマースシステムのサービス会社。取引決済処理、電子請求提示支払い、事務処理業務のアウトソーシング、文書配信サービス、ソフトウェア、システムなどのソリューションを提供。	3.4%
6	アクセンチュア	情報技術	グローバルに展開するコンサルティング会社。経営・技術に関するコンサルティングサービスおよびソリューションの提供のほか、アウトソーシング、提携事業も展開。	2.7%
7	エレクトロニック・アーツ	コミュニケーション・サービス	エンターテインメント・ソフトウェアメーカー。ビデオゲーム機、パソコン、携帯ゲーム機、携帯電話用にインタラクティブのエンターテインメント・ソフトウェアを開発、制作、商標化し世界で販売。	2.4%
8	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	ヘルスケア	バイオ医薬品メーカー。重病患者の治療を対象とする医療製品の研究開発と商品化を手掛ける。がん、眼病、慢性炎症の治療薬(臨床試験段階)、またその他の病気や障害を対象とする治療薬(前臨床段階)を扱う。	2.4%
9	ジョンソン・エンド・ジョンソン	ヘルスケア	世界各地で事業を展開するヘルスケア製品メーカー。ヘルスケア製品を製造し、医薬品、医療機器・診断市場に製品とサービスを提供。	2.4%
10	S&Pグローバル	金融	金融情報サービス会社。世界の資本やコモディティ市場を対象に格付けやベンチマーク、分析に関する情報を顧客に提供。	2.3%

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組み入れを示唆・保証するものではありません。

セクターは、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。組入比率は、対純資産総額の比率です。小数点第2位を四捨五入しています。同一発行体で種類の異なる株式の比率は合算しています。マザーファンドは「アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンド」。

出所:AB

保有銘柄のご紹介(2024年10月末時点)



ビルダーズ・ファースト・ソース(資本財・サービス)

建築資材の大手メーカー
積極的なM&Aで
競争力を大きく改善

PREMIER X VALUE
《ココがプレミア》
優れた経営戦略

企業概要

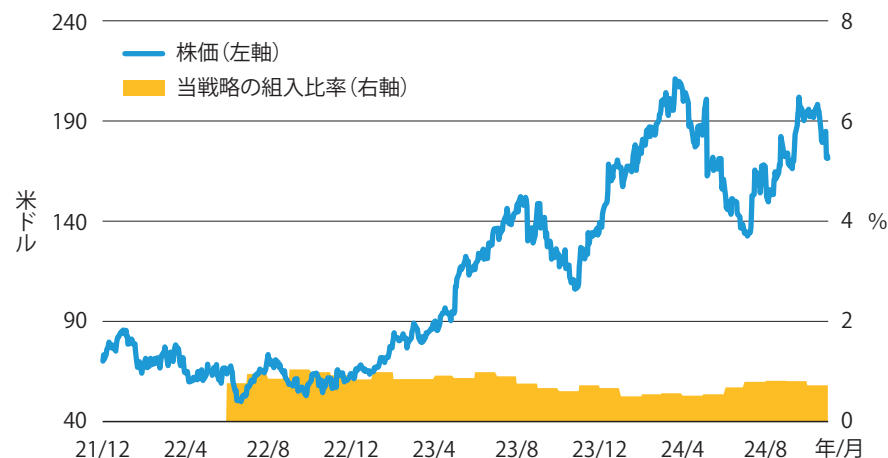
- 主に戸建て住宅向け建材の製造販売大手。近年実施した複数のM&Aにより、全米規模に事業基盤を拡大。

運用チームの着眼点

- M&Aを通じて製品の付加価値化を進め、収益性向上とスケールメリットを獲得。財務基盤も大きく強化され、大規模な自社株買いも評価。高い競争力により今後の成長余地は大きいとみている。



株価と当戦略の組入比率の推移*



ウェルズ・ファーゴ(金融)

米国最大手メガバンクの一角
堅実経営で安定した利益

PREMIER X VALUE
《ココがプレミア》
優れた経営戦略

企業概要

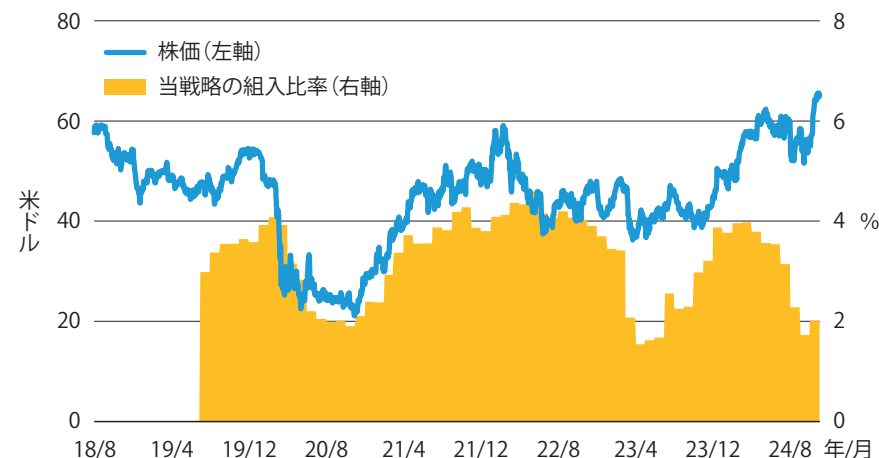
- 総合金融サービス会社。個人・法人向けに銀行業務、投資銀行業務、保険業務、不動産業務などを提供。

運用チームの着眼点

- 伝統的な国内リテール業務中心のビジネスにより安定的な金利収入が見込める。マクロ経済の変化の影響を受けにくい強固な財務基盤と、厳格なコスト管理を評価。



株価と当戦略の組入比率の推移**



当戦略の組入比率は、当戦略の代表口座のものであり、当ファンドの組入比率ではありません。

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。予想は今後変更される可能性があります。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで当ファンドの運用戦略の説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。また当ファンドにおける組み入れを示唆・保証するものではありません。画像はイメージです。セクター別配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS)の分類で区分しています。

* 期間:2021年12月1日ー2024年10月31日。株価は日次ベース。当戦略の組入比率は、当戦略の代表口座の対組入株式評価額合計の比率。月次ベース。

** 期間:2018年8月1日ー2024年10月31日。株価は日次ベース。当戦略の組入比率は、当戦略の代表口座の対組入株式評価額合計の比率。月次ベース。

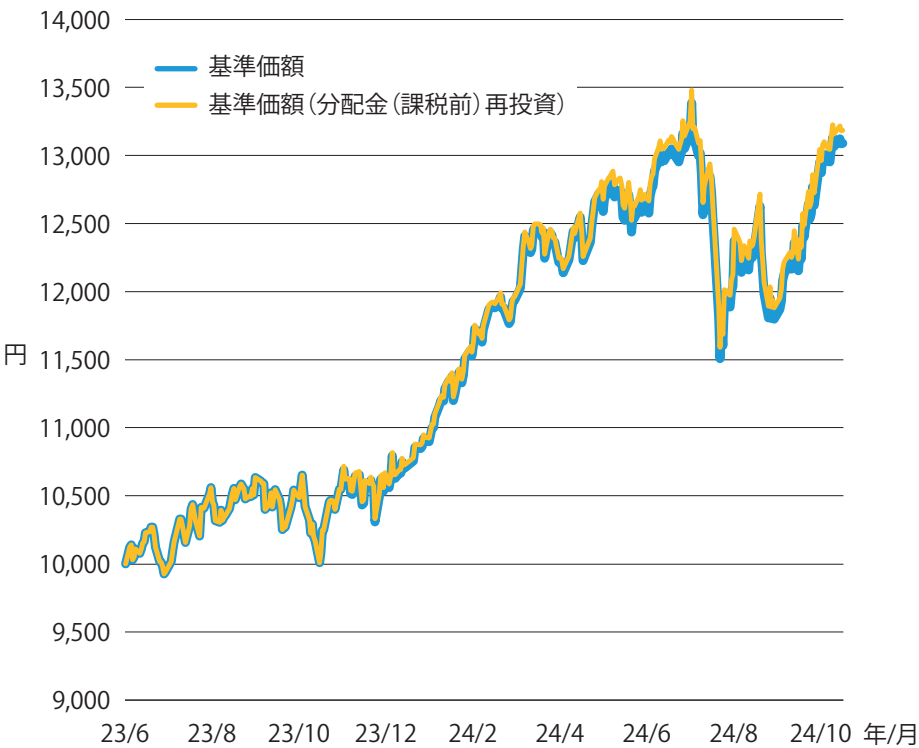
出所:ブルームバーグ、AB

当ファンドの運用実績(2024年10月末時点)



基準価額(1万口当たり、分配金(課税前)再投資)の推移*および分配実績

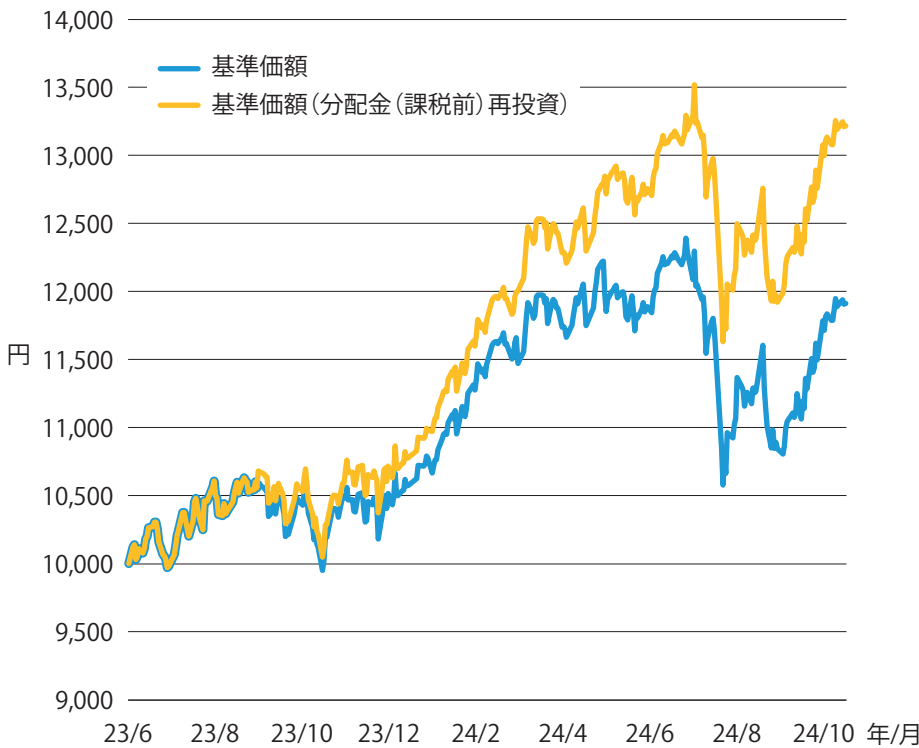
(年2回決算型)



1万口当たり、課税前

決算期	第1期 2023/11/15	第2期 2024/5/15	—	—	—	設定来累計
分配金(円)	25	60	—	—	—	85

(隔月決算・予想分配金提示型)



1万口当たり、課税前

決算期	第3期 2024/1/15	第4期 2024/3/15	第5期 2024/5/15	第6期 2024/7/16	第7期 2024/9/17	設定来累計
分配金(円)	100	200	300	300	100	1,200

※予想分配金提示型の詳細については19頁をご覧ください。

過去の実績や分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。
基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。基準価額(分配金(課税前)再投資)とは、課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスです。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
* 期間:2023年6月16日(当ファンドの設定日)ー2024年10月31日。日次ベース。
出所:AB

ファンドの特色①

資金動向、市況動向等によっては以下のような運用ができない場合があります。



1

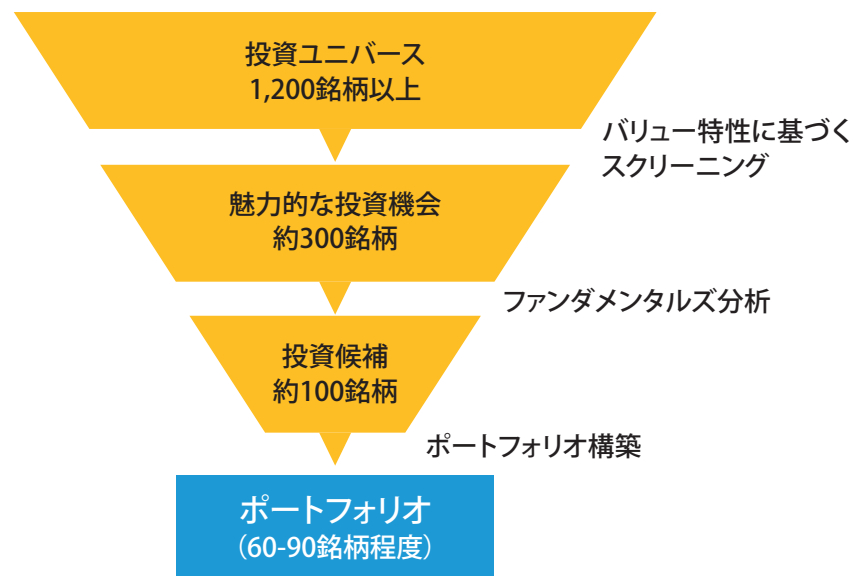
マザーファンド*を通じて、主として株価が魅力的で強固なビジネスモデルにより業績の向上が期待される米国株式に投資します。

* マザーファンドは、アライアンス・バーンスタイン・米国割安株マザーファンドです。

2

米国の金融商品取引所上場企業の株式を投資対象とし、綿密なファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づく銘柄選択により、厳選投資を行います。

運用のプロセス (2024年10月末現在)



- ファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップの銘柄選択の結果、大型割安株を中心にポートフォリオを構築します。
- 主にバリュー特性に基づきスクリーニングされた銘柄(約300銘柄)について、アナリストによる綿密なファンダメンタルズ・リサーチに基づき、ABの米国大型株運用チームは投資候補(約100銘柄)を絞り込みます。ファンダメンタルズ・リサーチにおいては、財務分析だけでなく、ESG(環境、社会、ガバナンス)など非財務分析も考慮に入れ、多面的な企業分析により“プレミアムバリュー企業”を選別します。
- 運用チームは、最終的にファンダメンタルズ分析の確信度やリスク特性などを考慮し、有望と判断される銘柄を選定します。

※上記の内容は、今後変更することがあります。

ファンドの特色②

資金動向、市況動向等によっては以下のような運用ができない場合があります。

3 マザーファンドの運用は、アライアンス・バーンスタインのグループ会社に委託します。

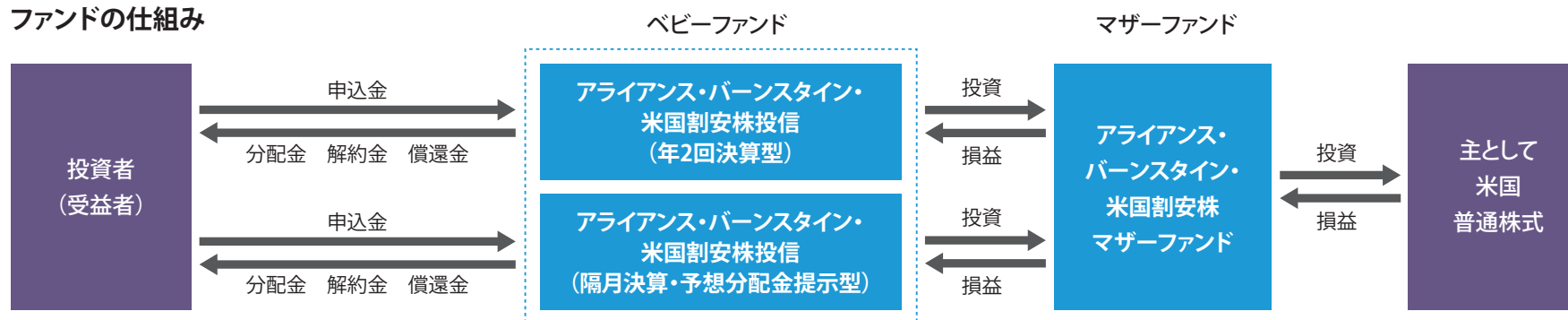
- 運用指図に関する権限委託：株式等の運用 ※国内余剰資金の運用の指図に関する権限を除きます。
- 委託先（投資顧問会社）：アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
アライアンス・バーンスタイン・リミテッド
アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド
アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド

4 実質的な組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

5 ファミリーファンド方式で運用を行います。

ファミリーファンド方式とは、受益者の資金をまとめてベビーファンドとし、その資金の全部または一部をマザーファンドに投資することにより、実質的な運用はマザーファンドにて行うという仕組みです。

ファンドの仕組み



ファンドの特色③

資金動向、市況動向等によっては以下のような運用ができない場合があります。

6 分配方針の異なる2つのコースがあります。

(年2回決算型)	年2回決算を行い(毎年5月15日および11月15日。休業日の場合は翌営業日)、分配方針に基づき分配します。
(隔月決算・予想分配金提示型)	年6回決算を行い(毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各15日。休業日の場合は翌営業日)、分配方針に基づき分配します。

<各コースの決算月>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(年2回決算型)					💰						💰	
(隔月決算・予想分配金提示型)	💰		💰		💰		💰		💰		💰	



(隔月決算・予想分配金提示型)コースは・・・「予想分配金提示型」というスタイルの隔月分配型ファンドです。

Point 1 基準価額に応じて支払われる分配金の水準を提示

あらかじめ目標となる分配金額が、基準価額の水準に応じて提示されているので、お客様にとってお受け取りいただく分配金額が分かりやすい仕組みです。

<分配方針>

原則として、毎決算時(毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各15日。休業日の場合は翌営業日)に以下の方針に基づき分配します。

①計算期末の前営業日の基準価額に応じて、以下の金額の分配を目指します。

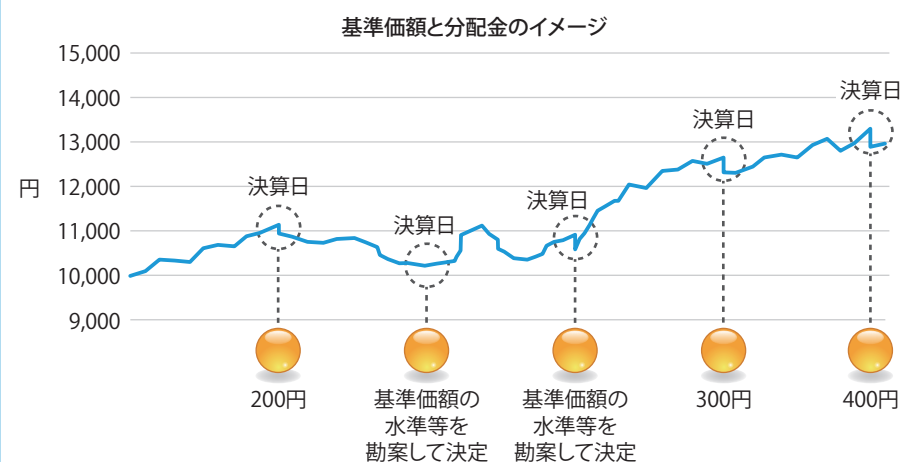
毎計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

②分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

③分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、将来の収益分配金の支払いおよび金額について保証するものではなく、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。

Point 2 基準価額の上昇に応じて、支払われる分配金が増加

基準価額の上昇に応じて、支払われる分配金額が増加します。分配金水準をあらかじめ提示しているため、受取額を見積ることができます。



※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありません。

※毎計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等、基準価額水準や市場動向等によっては、委託会社の判断で上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。

※基準価額に応じて、分配金額は変動します。基準価額が上記の一定水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。

※分配金を支払うことにより基準価額は下落します。このため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

※(年2回決算型)コース、(隔月決算・予想分配金提示型)コースの分配方針の詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項については、22頁をご覧ください。

ABについて／当ファンドの留意事項



ABのご紹介

- ABは米国を本拠とし、世界27の国・地域に拠点を有する世界有数の資産運用会社です。
- ABの従業員は約4,300名で、そのうち332名のアナリストが在籍しており、業界屈指のリサーチ陣容を備えています。
- 上場企業（ニューヨーク証券取引所）*としての信頼があり、豊富な経験と専門性で、お客様の多様化するニーズに対応し、世界の機関投資家、富裕層、個人投資家に質の高い運用サービスを提供しています。
- 日本においては、日本市場に最も早く進出した外資系資産運用会社の1つとして、30年以上の実績があります。

世界に広がる拠点



54 都市

資産運用の歴史と経験



50 年超

運用資産総額



約 **115** 兆円

ABは責任投資にコミットします



FUTURE OF ESG
Investing for a Sustainable Future

ABはESGの理解促進を目指し、シンボルマークを作成しました

- ABでは、運用資産の大半**で、非財務情報であるESG（環境、社会、ガバナンス）問題に対する取り組みをリサーチおよび運用プロセスに全面的に取り入れています。
- ABのアナリストは企業の経営陣と定期的に対話を行い、資本政策から情報開示まで様々な問題への取り組みを評価し、更なる改善を促しています。

- 当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組み入れられた金融商品等の値動き（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。
- 投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料は情報の提供を目的としてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料に掲載されている予測、見通し、見解のいずれも実現される保証はありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。当資料に記載された意見・見通しは作成時点での当社の判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社において投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受取りになり、記載事項をご確認のうえ、投資の最終決定はご自身でご判断ください。

2024年9月末現在。

* アライアンス・バーンスタイン・ホールディング・エル・ピーのリミテッド・パートナーシップ持分がニューヨーク証券取引所に上場。

** アクティブ運用戦略の運用資産額の約80%。

出所：AB

当ファンドの主なリスク



当ファンドは、マザーファンドを通じて主として株式などの値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

基準価額の変動要因

株価変動リスク

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響で株価が変動し、損失を被るリスクがあります。

為替変動リスク

実質的な組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

信用リスク

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。

また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

カントリー・リスク

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。

他のベビーファンドの設定・解約等に伴う基準価額の変動リスク

当ファンドが投資対象とするマザーファンドを同じく投資対象とする他のベビーファンドでの設定・解約等に伴うマザーファンドでの組入金融商品等の売買等が生じた場合、当ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

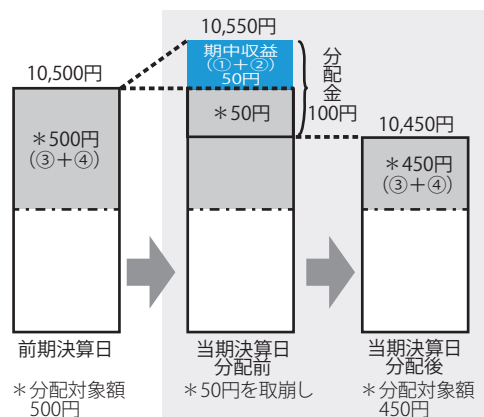
ファンドで分配金が支払われるイメージ



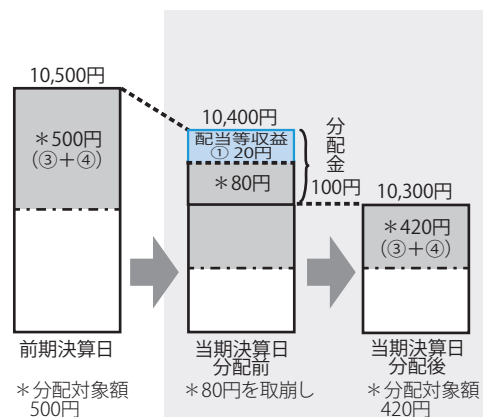
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

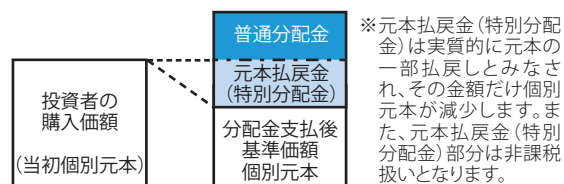


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

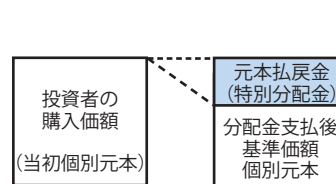
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

※左記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 : 個別元本 (投資者のファンドの購入価額) を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金 (特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金 (特別分配金) の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

お申込みメモ（※大和証券でお申込みの場合）

信託期間

2044年5月16日まで(信託設定日:2023年6月16日)

決算および分配

(年2回決算型)

原則、5月15日および11月15日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。

(隔月決算・予想分配金提示型)

原則、1月、3月、5月、7月、9月、11月の各15日(休業日の場合は翌営業日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。

※「自動けいぞく投資コース」の場合、収益分配金は税引後再投資されます。

購入および換金

ニューヨーク証券取引所の休業日には、購入および換金のお申込みはできません。

申込締切時間 原則、購入・換金のお申込みにかかる、販売会社所定の事務手続きが午後3時30分までに完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

購入単位 100円以上1円単位*または100口以上1口単位
*購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、上記単位でご購入いただけます。
※ただしスイッチングの場合は、1口単位です。

購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

購入代金 販売会社が定める期日までにお支払いください。

換金単位 1口以上1口単位

換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

換金代金 原則、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

換金制限 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。

スイッチング

コース間でスイッチングを行なうことが可能です。

課税関係

個人の場合、原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングによる換金を含みます。)および償還時の譲渡益に対して課税されます。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。税法が改正された場合等には、内容が変更になる場合があります。

お客様にご負担いただく費用（※大和証券でお申込みの場合）

お客様には下記の費用の合計額をご負担いただきます。なお、下記の費用は、お客様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なるものが含まれているため、合計額を表示することができません。

直接的にご負担いただく費用

購入時手数料 購入金額(購入申込日の翌営業日の基準価額/1万口)×購入口数に以下の手数料率を乗じた額とします。

購入金額	手数料率
5,000万円未満	3.30%(税抜 3.0%)
5,000万円以上1億円未満	2.20%(税抜 2.0%)
1億円以上5億円未満	1.65%(税抜 1.5%)
5億円以上	0.55%(税抜 0.5%)

「分配金再投資コース」を選択したご投資家が、収益分配金を再投資する場合は、無手数料とします。

信託財産留保額 ありません。

スイッチング手数料 ありません。

信託財産で間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬) 純資産総額に対して年1.6797%(税抜年1.527%)の率を乗じて得た額とします。
※マザーファンドの投資顧問会社の報酬は、委託会社の受取る報酬の中から支払われます。
※ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。

その他の費用・手数料 ●金融商品等の売買委託手数料／外貨建資産の保管等に要する費用／信託財産に関する租税／信託事務の処理に要する諸費用等
※お客様の保有期間中その都度かかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。
●監査費用／法定書類関係費用／計理業務関係費用／受益権の管理事務に係る費用等

※純資産総額に対して年0.1%(税込)の率を上限として、信託財産より間接的にご負担いただく場合があります(これらに該当する業務を委託する場合は、その委託費用を含みます。)。かかる諸費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から委託会社に対して支払われます。

ファンドの主な関係法人

・委託会社
(ファンドの運用の指図を行う者)

アライアンス・バーンスタイン株式会社
www.alliancebernstein.co.jp

・投資顧問会社
(マザーファンドの運用の委託先)

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー
アライアンス・バーンスタイン・リミテッド
アライアンス・バーンスタイン・オーストラリア・リミテッド
アライアンス・バーンスタイン・香港・リミテッド

・受託会社
(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

三菱UFJ信託銀行株式会社